

# 千葉県廃棄物処理施設設置等審議会

## 議 事 録

平成28年度 第4回

### 議題

- (1) 株見晴台環境の産業廃棄物最終処分場変更計画について

## 平成28年度 第4回千葉県廃棄物処理施設設置等審議会 議事録

### 1 日 時

平成29年3月3日（金） 9：30～17：00

### 2 場 所

ポートプラザちば ポートルーム（千葉市中央区千葉港8-5）

### 3 出席者

審議会：7名

事務局：大竹次長、生駒境対策監

廃棄物指導課：長谷川課長、強口副課長、石崎室長、安藤主幹、  
勝又主幹、坂元主査、玉沢主査、川股副主査、金子技師、  
鈴木技師

海匝地域振興事務所：大澤副主査

環境研究センター：森崎主任上席研究員

### 4 議 事

- (1) ㈱見晴台環境の産業廃棄物最終処分場変更計画について
- (2) その他（現地視察）

### 5 議事要旨

- (1) ㈱見晴台環境の産業廃棄物最終処分場変更計画について

事業者から変更計画の概要及び委員意見への回答について、各委員から意見が出された。

本件の審査は継続となった。

委 員 井戸の水質のデータを示していただいたが、観測井戸 No.1、2、ポラコン上流、下流とあるがこれは一体どこか。

事業者 観測井戸 No.1 が上流です。申請書の施設配置図中のセンターライン No.14 の右上のものが地下水観測井戸 No.1 です。センターライン No.0 から下がり、境界付近に設置されているものが地下水観測井戸 No.2 です。センターライン No.10 の右側がポラコン上流、No.4 の右側がポラコン下流です。

委 員 廃棄物を締め固める際において、一番影響として与えるものとしては巻出しの厚さだと思う。巻出しの厚さは、どれくらいを目安にして、埋め立てているのか。

事業者 巻出し厚については、目安として30センチぐらいとしております。

委 員 どういう場合に3回なのか。

事業者 廃棄物の種類によりますが、土砂混じりの多いものや、密度が比較的に見込まれるものなどは、回数が少なくて済むというような認識で作業を行っています。

委員 そうした場合、廃プラスチックが 10%までのものを埋め立てるということになっているが、廃プラとがれき・金属くずとの物性は全く違う。つまり、ゴムまでではないが、プラスチックの性質からするならば、一旦力を加えれば圧縮するが、また元に戻る。戻るといふ事は締め固めた効果が留まってくれる保証はない。従って、廃棄物中の廃プラ、ゴムのようなものの混入量というものには安定解析が重要となる。

3 軸試験の試験条件は高速圧として 100kPa とか 200kPa であり、実際には埋め立てて、重機で、巻出し、転圧した後に廃プラスチックはまた元に戻って、緩む傾向がある。こういう点を検討してください。

事業者 締め固めた後緩んでしまうという御指摘は懸念材料ですが、これまでの締固め著しくリバウンドした事はありません。土質試験の結果においては、安全と判断しており、今回の安定解析では 2 次元断面を対象に行っておりますが、実際、V 字谷になっており、堰堤が動こうとする時に側面を押す効果が出たり、そういったところも考慮に入れて、十分厳しい条件を与えて、安全率を確保しているものと考えております。

委員 下流側の堰堤法尻は最も荷重の集中する位置にあり、万一、液状化などによって地盤が不安定化すると流域へ甚大な影響を与える恐れがある。また、地下水は季節変動を伴うことが一般的である。これらのことを踏まえ、沖積砂質土層 (A s) に地下水位が分布しない理由を示すこと。

事業者 年間の地下水位観測記録はありませんが、できるだけ地下水位の高い時期 (比較的降雨量が多い時期の後) である 11 月に観測しております。強い雨の後でも地下水位は A s 層まで上昇することはありませんでしたので、地下水位は A s 層に分布しないと考えております。

委員 圧密係数  $C_v$  の選択の問題です。圧密係数は、理論上一定値というような取り扱いの中でやっているが、応力レベルによってかなり違う。それは小さな値をとったというのはどういう意味において小さな値をとったのか。要するに想定するような圧密・圧力、この部分に注目した意味において、小さめの数値をとったのか。

事業者 基本的には想定される上載圧に応じた値を選定していくというのが圧密時間なので、今回、一番小さい値をあえてとりました。

委員 小さい値とはどの程度小さい値なのか

事業者 圧密降伏応力より大きい荷重領域において、一番小さい  $C_v$  が得られた値です。

委員 一番応力レベルの大きい値ですか。

事業者 大きい方の値です。

委員 地下水の水質のところでは上流管の方が下流管よりも電気伝導率がかなり高いが、どのように解釈されているのか。

地下水の水質で、観測井戸 No.1、No.2 とあるが、観測井戸 No.1 が上流との説明であったが上流側の No.1 の方が 1900mS/m、2000mS/m ぐらいで、下流側の No.2 は 590mS/m と値が下がっているが、どのように解釈しているのか。

委員 上流と下流が逆じゃないか。

事業者 確認して、回答します。

委員 計画地は、若干高台にあって、民家も遠くないが、今まで粉塵飛散や土埃とかの苦情はないと聞いているが、引き続き、強風時の散水対策をしっかりとやること。

委員 前回は指摘したが、埋立時に重機が埋立地中心付近を稼働する場合で予測しているが、埋立地の端の方では、検討しないのか。

事業者 改めて回答します。

委員 安定型処分場の管理は、展開検査が非常に大事ですので、十分行ってください。非飛散性の石綿含有廃棄物の埋立位置を座標で記録しているとのことだが、どういう記録の仕方をしているのか。埋め終わった後の跡地の形質変更の時に非常に大事な情報になるので、教えていただきたい。

事業者 地形測量と同じ手法で、座標測量によって記録保存しております。記録については、後日お示します。

委員 展開検査については、安定型処分場に適しないものを具体的にはどのように行っているのか。

事業者 重機の運転手とそれから補助作業員の2名とつけて展開検査を行っています。

委員 プラスチックとかが、10 から 15%混ざるとのことだが、プラスチックとその他のものが接着したようなものなのか。できるだけ埋め立てない方が良いのではないのか。

事業者 どうしても混ざってしまいます。

委員 分けられないのか。

事業者 分けられないものと考えております。今後ご指摘の点を踏まえ方法を検討します。

## (2) その他

新井総合施設㈱の現地視察を行った。